

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果検証について(繰越事業含む)

No	事業 計画 No	交付対象事業の名称	事業の概要(計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③経費内訳 ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費	交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	成果・評価等	事業担当課
1	1	交流拠点整備事業	①災害時に孤立する可能性が高い集落での救急用ヘリ等の発着用広場として整備した場所を、コロナ収束後に備え、スポーツ活動にも活用できるように必要な整備を行う。地域に人を呼び込み、交流の拠点とすることで地域の活力向上を図る。 ②③工事費等 6,495,600円 ④旧猪山小学校グラウンド	6,495,600	6,495,000	R3.7	R4.3	旧猪山小学校グラウンドを救急対応用のドクターヘリなどが発着できるよう整備し、コロナ収束後には、スポーツ活動に利用できるように必要な整備を行った。	企画課
2	2	人材育成・交流センター建設事業	①新設する人材育成交流センター建設に係る工事の一部を支出する。現状の加計高校生徒寮は複数人部屋を基本としており、コロナ等感染症に対するリスクが高い状況にあるため、高校生徒寮の機能を有する施設とし、コロナ収束後においても感染症蔓延のリスクを低減し、生徒が学業に専念できるよう個室対応とし、全国から公募する生徒の安全・安心を確保する。 ②③土地の造成工事・外構工事 47,470,500円 ④安芸太田町人材育成・交流センター	47,470,500	47,470,000	R3.8	R4.3	人材育成交流センター「黎明館」を整備した。全国から生徒募集している加計高校の生徒寮機能を有する施設で、コロナ感染症収束後も感染症蔓延のリスクを低減するため個室対応とし、生徒の安心・安全を確保することができた。	企画課
3	3	公共的空間安全・安心確保事業	①新設する人材育成交流センターに必要な備品を整備する。地域の交流の拠点、防災の拠点としても活用されるため生徒はもとより地域住民へ感染拡大しないように衛生管理備品と個室又は分散利用ができるよう必要最低限の整備を行う。 ②③人材育成・交流センター備品購入費 25,000千円 厨房機器一式、洗濯機、個室備品(ベッド、机、冷蔵庫等) ④安芸太田町人材育成・交流センター	25,064,394	25,064,000	R3.12	R4.3	人材育成交流センター「黎明館」を整備した。全国から生徒募集している加計高校の生徒寮機能を有する施設で、コロナ感染症収束後も感染症蔓延のリスクを低減するため個室対応とし、生徒の安心・安全を確保することができた。	企画課
4	4	公共的空間安全・安心確保事業	①公共的施設である安野ふれあいセンター内の衛生管理を改修し感染拡大の予防に努める ②③空調施設2,750,000円、流し台改修費用 599,060円 ④安野ふれあいプラザ	3,349,060	3,349,000	R3.11	R4.2	安野ふれあいセンターの空調、調理室流し台の改修により、感染症対策を行うことで、利用促進を図ることができた。	加計支所
5	5	遠隔診療・遠隔リハビリテーション等の支援事業	①安芸太田病院事業会計に繰り出し、コロナ感染リスク回避のため、遠隔診療を推進する。そのためにポケットカルテ(PHR)の導入を支援し、個人の健診データ、医療データ、介護データ等を電子化(電子カルテ)して一元に管理できる仕組みを作る。 ②③機器整備費 24,959千円 ④安芸太田病院、戸河内診療所	24,959,000	24,959,000	R3.12	R4.3	・遠隔診療(DtoPwithN)に必要な一を導入し、集会所や介護施設での検証を行っている。大雨による土砂災害で幹線道路が通行止めになった際、孤立した該地域の集会所に緊急的に出向き、予約のあった患者の診察、定期の処方箋の発行対応が可能であった。 ・ポケットカルテ(PHR)と当院と戸河内診療所の電子カルテとの連携が可能となり、患者自身で処方箋、ワクチン接種、薬剤アレルギー、医療費など、自身の健康データをスマホやPCから見るできるようになった。	安芸太田病院
6	6	安芸太田町頑張る中小事業者応援給付金事業	①新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために、広島県が外出機会の削減等を要請する集中対策期間を実施したことにより、売上が減少した事業者を対象に県と町で連携し支援を行う。 ②③1店舗につき最大30万円 19店舗×238千円=4,537千円 (1/2県、1/2町) ④町内の中小企業者	4,537,000	2,268,000	R3.6	R4.3	集中対策期間(令和2年12月～令和3年2月)に著しく売上が減少した飲食業以外の小売業、運送業、宿泊業を生活関連サービス業などの町内事業者の事業継続を支援し、支援対象者(19事業者)に廃業は無かった。	産業観光課

7	7	休業要請協力事業者支援事業 (安芸太田町キャンプ場関連施設 感染拡大防止協力支援金事業)	①新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、町独自で休業を要請した指定管理施設に対し支援金を交付する。 ②③町内の指定管理施設への支援金 上限500千円×5施設 支出額1,113,000円 ④町が休業を要請した指定管理施設の管理事業者	1,113,000	1,113,000	R4.1	R4.3	町独自の休業要請期間(令和3年5月～6月、9月)に営業ができなかった指定管理施設(キャンプ場関連)の指定管理者を支援し、支援対象者(5施設)に指定管理期間内の撤退等はなかった。	産業観光課
8	8	安芸太田町中小企業者等支援助 成金交付事業(安芸太田町新型コ ロナ感染拡大影響事業者支援金 事業)	①新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経営の安定に支障が生じている中小企業者等に対し、助成金を交付することにより、中小企業者等の経営安定を図り、町の経済の維持、発展に資する ②③新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者及び小規模企業者(個人事業主含む)等1者につき上限10万円 事業者申請者55件 5,295千円 ④新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者及び小規模企業者(個人事業主含む)	5,295,000	5,295,000	R3.9	R4.3	新型コロナの影響が長引く中、町内事業者の事業継続を支援し、支援対象者(55事業者)に廃業は無かった。	産業観光課
9	9	公共交通(バス、鉄道、旅客船、 航空等)応援事業	①コロナの影響を受けている公共交通の利用促進を図るため、町内在住の中学生・高校生が広島市内に出かけるためのバス運賃を支援する。 ②町内から広島市内の往復バス運賃 ③安芸太田町～広島市内のバス運賃×往復×56人 ④町内在住の中学生	129,360	129,000	R3.8	R4.3	新型コロナの影響により利用者が激減した公共交通の利用促進として、町内在住の中学生56人に対しバス助成券を発行した。	企画課
10	10	新型コロナウイルスワクチン高齢 者優先接種促進事業	①65歳以上のワクチン接種を促進するため、交通弱者への移動支援と地域経済の活性化に寄与するため地域商品券を配布する ②③ハートフル商品券@2,000円×3,151人=6,302,000円 業務委託 1,108,183円 ④町内在住の65歳以上の高齢者	7,410,183	7,410,000	R3.7	R3.8	新型コロナワクチン接種促進のため、交通費相当分の支援として65歳以上となる町民の方を対象にハートフル商品券2,000円分を配布し、接種の促進に繋げることができた。	健康福祉課
11	11	生理の貧困支援事業	①新型コロナの影響を最も受けた飲食業や小売業、観光業などは、もともと女性比率の高い職場であり、また、女性の割合が多い非正規労働者がリストラされたことにより、収入が大幅に減少している。長引くコロナの影響により経済的困窮から生理用品を買えない方を支援するため、生理用品の無償配布を行う。 ②③生理用ナプキン×120セット @185×120×1.1 =24,420円 ④町民	24,420	24,000	R3.8	R4.3	役場本庁及び各支所の窓口で希望者に対し生理用品の無償配布を実施した。	住民課
12	12	農林水産物の生産・流通・小売業 による流通改善支援事業	①コロナ収束後に備え、町の特産品である祇園坊柿商品を年間通じて購入してもらうために、柿ピューレを長期間保存できる保冷库購入を支援する。 ②③保冷库の購入補助(補助率1/2) 495,400円 ④安芸太田元気村	495,400	495,000	R3.10	R3.12	地域特産品として祇園坊柿の加工品が開発され、その原材料として柿ピューレの需要が高まっており、柿ピューレ等を年間通じて供給できるよう、保冷库の購入を支援した。	産業観光課
13	13	地域の名産品魅力発信事業	①コロナ収束後に備えて地域特産品(祇園坊柿等)のプロモーションを実施することで地域ブランドの確立と生産者の稼ぐ力の向上を支援する。 ②③事業費の補助金 2,000千円 ④一般社団法人地域商社あきおた	2,000,000	2,000,000	R3.10	R4.3	祇園坊柿を活用した新商品の開発やEコマースや道の駅売店等でのプロモーションにより、知名度が向上し、売上高は前年度比前年度比120%、ふるさと納税額は前年度比462%と成果があった。	産業観光課
14	17	プレミアム商品券発行事業	①コロナの影響を受け疲弊している地域経済の振興を図るため、安芸太田町商工会が発行するプレミアム付き商品券発行事業を支援する。 ②③プレミアム商品券発行事業補助金 4,374千円 ④安芸太田町商工会	4,374,000	4,000,000	R3.7	R4.3	新型コロナの影響が長引く中、町内限定で使用できるプレミアム商品券37,400枚を発行して、期間内に37,325千円が流通し、追加的な需要を創出できた。	産業観光課
15	18	図書館パワーアップ事業	①外出抑制時に自宅で過ごす時間を豊かなものにするために図書館及び小中学校の蔵書購入費に充てる ②③児童書、一般書、辞典・専門書、移動図書館用図書購入 ④安芸太田町立図書館、町内小中学校	1,647,003	1,647,000	R3.4	R4.3	新型コロナ感染拡大の影響を受け図書館事業の自粛等により従来の活動ができなかったが、ステイホームによる余暇時間を活用した読書活動を促す機会となった。 (貸出実績31,911冊)	教育課

16	19	ひろしま型スマート農業プロジェクト支援事業	①コロナ禍及びコロナ収束後における強い農業振興を図るため、農業分野におけるDXを推進する。そのために、ひろしま型スマート農業実証実験に必要な農業施設整備の一部を支援する。 ②③実証実験に伴う施設整備費を補助(1/2) @2,057千円×1件=2,057千円 ④町内のひろしま型スマート農業実証実験に参画する農家	2,057,000	2,057,000	R3.10	R4.3	スマート農業実証実験による自動灌水設備導入のため、井戸掘削費用を補助した。自動灌水設備を導入することで、手動灌水に従事していた時間を年間約90時間省力化でき、他の営農に振り向けることができた。	産業観光課
17	20	貸切バス利用促進助成事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により貸切バスの需要が激減し、交通事業者の収入が減少している。町内事業者の貸切バス利用料金の一部を補助することで、利用促進を図り、交通事業者の支援を行う。また、町内の飲食、宿泊を伴うバス利用については補助率を上げ観光客の誘客を促進する。(令和4年度繰越し事業) ②③貸切バス使用料1/2を助成 上限:10万円/台 利用件数48件・2,500千円 ④町内の交通事業者及び利用者	2,500,000	2,500,000	R4.4	R4.11	町内事業者の貸切バス利用促進のため、利用者に対し補助を行った。合計48件の利用があり、事業継続を図ることができた。	企画課
18	22	宿泊施設維持管理経費支援事業(安芸太田町新型コロナ感染拡大宿泊事業者支援金事業)	①新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている宿泊事業者に対し、公共料金の一部を補助することで施設の維持管理経費を軽減し、事業継続を支援する。 ②令和3年4月以降の公共料金の一部 ③町内宿泊施設の規模に応じ予算の範囲内で支援する。5,683千円 ④町内の宿泊施設	5,683,000	5,683,000	R4.1	R4.3	新型コロナの影響が長引く中、多大な維持経費を要し、観光施策の受け皿となる町内宿泊事業者の事業継続を支援し、支援対象者(5施設)に廃業は無かった。	産業観光課
19	23	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金上乘せ事業	①子育て世帯への臨時特別給付金を、迅速に対象世帯全戸に給付するため一人あたり10万円を全額一括現金給付とし、養育者の年収が960万円以上である世帯に対しても上乘せして給付する。 ②③給付金の上乗せ分 100千円×7人=700千円 ④養育者の年収が960万円を越す世帯の18歳以下の子ども	700,000	700,000	R3.12	R4.3	国に先んじて支給に係る所得制限を撤廃し、現金10万円(先行給付金・追加給付金)を一括して給付するとともに、当初は対象とならなかった所得制限超過の子育て世帯への救済として町独自で給付を実施し、町内在住の18歳以下全員への給付ができた。	健康福祉課
20	24	在宅勤務導入支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるために職員のテレワークや分散勤務を推進し、必要なノートパソコンを整備する。 ②③ノートパソコン購入費用 @150,000円×1.1×15台=2,475,000円 ④安芸太田町役場	2,475,000	2,475,000	R4.2	R4.3	新型コロナウイルス感染および感染防止対策として、テレワークに必要なパソコン等を整備した。令和4年度末までに57回のテレワーク実績があった。	企画課